



理事再任のご挨拶と報告

理事長より理事再任を目的として  
理事の 推薦 武

新専務理事のご挨拶と報告

本会への関心と期待としてのNSPA  
専務理事の 推薦 武

新専門委員長のご挨拶と報告

東京国際ブックフェア報告 ほか

2011 11/15 NO. 4

<http://www.nspa.or.jp/>

TEL: 03-5277-6000 FAX: 03-5277-6001 E-MAIL: nspa@nspa.or.jp

### 理事再任のご挨拶と報告

理事長より理事再任を目的として

理事長 推薦 武



### 東

日本文化圏では、地理と歴史によって二万人歩くの生命が奪われたのみならず、先祖代々が生きにわたって営々と築き上げてきた生活基盤そのものがゴキブリやネズミもるとともに崩れ去るという惨状を期してしまっています。

さらに、この震災に伴う原発事故がもたらした放射性物質による環境汚染は、ことさらに深刻な問題を提起してきていると聞いています。その放射能汚染が、住民に与えた被害をいまでも追われている一〇万世帯も届いてはいる被災者の方々や、この地方の経済産業である観光や漁業に携わる方々に、全く先の見通せをい不清を及ぼしてはいることとはもろんですが、それだけでいいとは思いません。このたびの災害が留まっている問題は、一地方の問題を超えて、われわれ全人類が自らの未来の生活基盤をいかに築き直すかを、またそのことを通して

いかなる新たな社会構造を築き直すかを問うていふのだと受け止めるべきではないかと。

私たちが「自然科学書協会」に選されている機関もまた、小なりといえども弱く受け止めて対応していかなければならぬ。危機の時に備えておられることを祈っています。

このたび、このよき時期に当協会の役員改選によって再び理事を務めつつあります。このうち本協会員と共に理事に時局を受け止めるながら、当協会のみならず発展を期して能力があら力を尽くす両任でありますので、まずは皆を第一の心で感謝・ご挨拶を申し上げますようお願い申し上げます。ご挨拶を振りますと記憶します。財政健全化の名のもとに教育や文化の分野までもが、経済優先の急激な効率主義・市場原理主義の波に寄せられてきてまいりました。学校や図書館の予算の大幅削減に伴い、図書館員、大学の研究者や人材育成にも削減を招いてきました。教育現場での理学的な研究も、研究者の育成や研究環境にも深刻な影響を及ぼしてまいりました。その余波は優れた研究者の無気力化をうながし、これまでもかろうじて世

界的に地位を保持してきたのが国の科学技術の発展を担うべきであり、文化全般の発展を担う。ひいては自然現象が長年に亘って急速をつづける大きな原因にもなってきたのだと考へております。

江戸時代、読書の機にあつた藩の財政再建を果たしたことで著名な水戸藩主上杉徳山が興った徳島の徳のひとが、財政再建と一見無関係な藩士、蘭館の教化、育成であつたことを思い起こしてはしいと思っております。

いま、この困難した教育・学術・文化の復興を掲げて行動を起こし、復興した現状から少しでも回復できるような活動をしていくことです。これまで事業計画を見直し、より革新的な取組につながるよう努力も求められますが、同時に従来からの協会が主催してきた講演会やセミナーなどを含めた二種の学術に関する啓発活動や、各場で開催してきたブックフェアなど読書の普及活動にも斬新な取組を盛り込み、理事長「知の復興運動」として社会的に認知されて普及を促すことを目指すよう、積極的な活動をしていくことが重要であるかと考えます。また、著作権や印刷権に関わるさまざまな問題も、近年は学コンセンサス

裏面中それに伴う出版システムのも様  
化もあつて、その研究や編輯などに於  
いても総合への期待が多く寄せられて  
あります。なおかつ、出版者の編輯的  
自由化、出版物の消費水準の発展及  
び字再印刷技術などの進歩について  
も、出版界が準備して臨戦よく迎戦し  
ていく必要があるかと思ひます。ま  
た、これらの事態を待ためず協会内外  
の積極奮闘を必要とする一層奮闘に  
なつていかねばならないことよ。

協会の事業は各専門委員会が中心と  
なつて進め進歩してまいりますが、当  
協会は一般社員法人の発行を推進し  
ていることもあり、これらの活動の大  
半は公益事業計画に則つた方法でも進  
められるように活動されてまいりませ  
う。

### 大 衆的出版は、今やむしろ協 会を揺さぶる「自然」への畏敬の念 を覚悟させ、またこれ等の効率優先 の改革方策を成める警鐘でもありま した。出版協会の存続に当たつてはこれ らのことを裏面が心懸けなれ、上面 の「宣言」を研究して取り進むことが 切に求められていゝと思ひます。

裏面の文章について、普通の紙  
身の定期活動や「さつぱら」や「あま  
からの発行」など、さまざまを想定して  
支拂をいたされてまいりましたので、既  
興事業などはまだまだ未知の道を歩

してあります。会員各社における出版周  
辺の出版活動はもろもろ、自然科学  
の各分野からするとの改善を軸として  
出版の発展を促すよう各専門委員等  
執筆の出版活動も、その支拂への大き  
な「力」になるに違ひありません。こ  
れらのほか、協会としては「大衆的出  
版」に力を入れた「上も出版」に力を入  
れ、出版活動を推進していかねばなら  
ないことになりま

### 定 義

よつて、自然科学に関する出版  
事業の文化財的使命達成を助けると共に、  
自然科学及びその応用の進歩向上に寄  
与する。尤も此も、諸力ある業界形成  
を助けてまいりたいと思つておきます。  
今後とも、私にとり協会の活動にこそ  
お力を貸し、協会の発展にこそお力を  
貸してまいりますようお願い申し上げ  
ます。

### 新事業理事の挨拶と抱負

本まつくりがまず存在としての責任

理事長 島田 辰

このたびの出版協会の改選で、理  
事理事の任に就くことになりました。  
理事長にいらっしゃるの責任はあります  
が、お引き受けしたからには、前理事と共に、  
協会の内情を整理、さらなる発展  
のため、微力ながら力を尽くすことと決

意を断たせられております。会員の任  
意には、これまでにも増してご指導、  
ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ  
させていただきます。

今秋の出版協会の経営は「質」とも  
「本の方」です。広く国民に呼びかけ  
るべき「質」が、出版協会の経営  
などには貼られて、しかも、いゝまで  
もなく、出版協会の発展の基盤は、本  
の力を借り、その「本」をつくる「力」  
をもつてある存続です。

本をつくる「力」、本をつくりだす存在  
といふのは、ほんとうに生命に於いて大  
切なものであると思ひます。本は、知  
識の伝播、向上と技術の発展・普及  
に多大の貢献をしてきました。別紙が  
「本」といふ小さい部類ではあつた  
けれども、科学技術の進歩を助けて  
、社会を大きく発展させてきたのです。  
本は、知識や技術を生み出し、保  
存されている「パッケージ」であり、そこか  
らさらなる知識や思想が展開されるた  
めにあるものです。そういう本という  
ものをつくる力をもつた出版界、自  
然科学という側のもこと（口）社結集し  
ていふ事という、そのことがまず大衆に  
必要のあることだと私は考へています。

しかしながら、私たち出版界をとり  
まく環境はけつとして平々としてい  
なく、ますます複雑に、困難も直

面してあります。誠意に於いては、物  
業理事等、各専門委員会の委員長がご  
指導になり、質を高めるまでであらま  
すが、私のまずもつての抱負は、協会  
の中心で責任感があるが、さういふに  
ついては、いかに出版協会の発展を  
支拂する「力」、出版の方々の質的進歩  
を助けるべきよう努め、また会員の任  
意にはご指導やご鞭撻を賜りますこと  
とお願いしていただいております。各  
専門委員会にお願いを致すは、いかに  
必要であることと声を大にして呼びかけ  
ることだと考へていませう。

また、出版界は協会の発展という言  
ひ方もありますが、人間活動の文化の  
前には、どの業態たりとも発展に  
又成長は望みえません。出版業界の亮  
上層のことと自身を差別に表明的にと  
らえてはいけなないと信じます。この意  
で、この社会に、本がなくどうなる  
でしょう。「本をつくる力」、その意  
を私たちがどうやら協会に、共に展開  
に立ち向かい、出版界として社会的貢  
献を果たすことで確るい使命を担いで  
いきましよう。

出版界の発展

### 理事長の挨拶と抱負

理事長 島田 辰

制に実行しました。委員長は兼任です  
が、担当理事とは其出版後の編集  
社共、編集委員は三井建設の専務社  
長、委員には朝日社理事の片岡社長  
にご兼任いただきました。ベテランと  
若手に加わっていたので、パナ  
ソニックの社長兼編集長が可能ななる  
ものと思っております。

また、今回は役員改選に伴い、船文  
会役員編を履行いたします。一二月下  
旬までには会員の書類の号外完成願く  
とす。目下、編集作業を進めております。  
また、引き続き、一般社団法人への  
移行に伴う事務整理に取り組んでおり  
ます。既に、新公益法人会計基準への  
適合化に關しては、第五九期の決算書  
から対応を仕めており、第六〇期の  
事業年度決算書において、手帳・決  
算ともに新会計基準に適合したものと  
なっております。第六二期も公益目的  
支分計画に明記した事業を行い、その  
事業活動に伴う資金の動きは、第六〇  
期に導入した会計ソフトによって順次  
把握し、会計事務所との連絡のもと、  
迅速かつ正確な決算処理を行いたいと  
思っております。

また、自然科学学協会の公式ホーム  
ページの管理域、これまで取締役会が  
担当してまいりましたが、今期から  
は編集委員会に担当が移りました。こ

れは、会員向けサイトの色彩が確かな  
と強固の内容を改め、広く一般読者（「  
編集者」）を意識したサイトへの再構築  
を意図した取り組みです。

これからも、他の専門委員会と同様  
に編集委員会へのご理解とご協力をお願い  
申し上げます。

（委員長 船橋尚徳）

#### ●広報委員会

この度、広報委員会を再編いたしました  
。何分にも浅学浅才のため行きと  
どかない点が多々あるかと思えますが  
幸いにして「尚らば大層」の大層担当  
理事と山中副委員長、ともにびに個  
性的で有識者丸名の委員がいるおかげ  
で、委員長としては心物に陥りずす。

さて、当委員会では一般社団法人化  
に向けて、協会の活動内容や存在意義  
を今まで以上に会員各位にもちろんの  
こと、業界全体問わず、一般国民に  
も広く告知をしていく使命があります。  
以下の二点が主な委員会活動内容とな  
ります。

- ・会報の発行（二月、四月、七月、十月  
の年四回）
- ・自然科学学協会のホームページ
- ・協会活動の関係メディアへのPR活動
- ・紙上の報道記事、今更自然科学学  
協会会議録は自然科学者メディアの関

関中に積極的において実施していま  
した。これを分離させ、早期の段階  
から検討・準備に取り掛かり、先立し  
た編集会にしていきたいと考えていま  
す。また協会の活動の関係をメディアへのす  
る活動は、編集委員会が積極的に行動を  
起こします。同様にには協会の主眼ある  
いは明確にして、イベントに当委員が  
取材申し込みを起し、編集メディア  
に情報を提供し、あるいは編集メ  
ディアに対して取材依頼をします。  
この二つの活動を円滑かつ迅速にす  
るために、それぞれを小委員会として  
、委員が必ず自分の小委員会と所属  
して役割を担ってまいります。

つきましては、例年各種方のご理解  
とご協力をお願い申し上げます。

（委員長 中野良忠）

#### ●著作権・出版権委員会

八月四日の定例理事会にて著作権・出  
版権委員会で任命いたしました。情報  
の電子化とネットワーク化の進展に伴  
う著作物の多様な利用による、著作権  
に關わる問題も多岐にわたっています。  
印刷物の電子アーカイブ構築や機  
関がソフトリなどは出版社のビジネス  
と連なるところもあり、今後の動向に  
注視する必要があります。また、違法  
な自営行為をはじめとする不正な出版

物の利用や海賊版に對しては、引き続き  
を厳正な注意を喚起する取組を進め  
るなければならぬと考えています。

一方、まだ難についてはわかりです  
が、電子ジャーナルや電子書籍におい  
ても著作権処理は不可欠であり、と  
りわけ自然科学の領域においては  
円滑な転載処理が求められていま  
す。二〇〇八年に発表された「転載許  
許がイテライニ（二〇〇八）」も自然科  
学出版協会の出版物の国際的組織であ  
る STM (Scientific and Technical  
Information Research and Education  
Association) と連携し、協力を加える  
必要があります。また、日本版著作権セ  
ンター（JCR）と二〇〇八の二ページ二回とい  
う複製使用料規程の改定、出版者著作権  
協会（著作権者）、著作権者団体連合（著作権  
者）、国際著作権協会（国際著作権）の四  
団体の一本化について、著作権の利便性  
の観点からも取り組まなくてはなりま  
せん。このように、著作権・出版権に  
かかわる本委員会の今後の活動内容は  
広く、多岐です。関係各位のご協力を  
得て、業務を進めたいと考えていま  
す。

（委員長 小笠原昭）

#### ●編集委員会

この度、第六二期／第六二期の題取



いては次号会報にてご紹介させていただきます。  
ご予定下さい。

今後の活動にも是非ともご期待下さい。

（委員長） 藤 道徳

## 東京国際ブックフェア報告

二〇二二年七月七日（一〇日）に於いて開催された第二八回東京国際ブックフェアは、東日本大震災から加上年十四ヶ月物ということもあり、「震災復興支援ブックフェア」という位置づけで開催されました。自然科学書籍も例年と同じく三五ブリスの展示販売スペースを確保し、会員各社の書籍・雑誌を販売した。

今年は東日本大震災復興のためなどという期間だからと自然科学書のもつ役割を自覚し、その役割を積極的

に発揮できる場として設置付けての計画であった。例年通りの開催となるか懸念されたが、実行委員会が開催決定に至るまで、自然科学書籍協会もこうした状況に配慮される内容を吟味して開催した。

まず、売上金額の二五％を東日本大震災の復興支援金とすることとした。さらに、これまでとは必ずしも教科書類の上限を二〇冊から五〇冊に引きあげること、出品物が例年と比較して五〇〇冊ほど増え、約二二〇〇冊の展示販売になった。

そして、自然史の復興、標準典、ハンドブック類の特別コーナーに加えて、震災関連本のコーナーを設けた。震災関連、自然エネルギー、地震防災関連等各会員の多種な出版物が展示され自然科学書のもつ役割を強調することができたと思う。展示スペースには各地

の下で開催期間中には、その震災関連本をテーマごとに分類、画面展示し好評を得ることができた。関係者に感謝申し上げたい。

（東京国際ブックフェア） 伊藤 正史

## 北京国際ブックフェア報告

第二八回北京国際ブックフェアは八



月三日（金）から六月四日（日）まで、今年から会場を移して、二万平方メートルを越える首都中心部から車で約二〇分の中国国際展覽センターで開催された。昨年とはほぼ同数の六〇か国の参加があり、日本からは一四〇社が二九ブリスに出席、出展会としては例年通り共同ブリス（二区画）にて展示した。

伝統として国際的に重要なテーマブックである中巻では、阪神とシネマス成長の一環で、自然科学書籍の知識が病院を駆使している。しかし、中国阪神ビジネスの成長は反面、同国内では輸出の平均値として例年と変わりつつあり日本は中国にとってはまだまだ出展機会とされている。日本書の人気も相変わらず、阪神のフェアが読者に届く。だが、日本書の販路確保では自然科学書は文壇、海軍に力を入れている。展示している、その場として、事前に出展者が提供した解説のテーマを基に同展示会日本事務局で「出品目録」を

作成、展示団体である中国出版进出口総会社がそれを基にして中国全土の図書館、教育研究機関、企業等に愛読促進活動も展開した。

去年も売場会として出展することは好ましいと思うが、規模で感じるのは当協会ブリス二区画では例年と比較して目立たなく、展示する例にはアビィル度が高いと感じたので、今後、新しい国際委員会と検討して直々理事会に諮って頂ければと考えている。

（東京国際ブックフェア） 小宮 正史

## 自然科学書フェア報告

二〇二二年九月六日（金）トートロ月二〇日（月）まで、伊予新聞社書店本店にて、自然科学書フェアを開催し







二五時—二六時(10分) 日本共産党々々  
ブ会館

・八月廿四日(水) 八月政治問題研究会／二七時—二八時 開元

・九月二五日(水) 九月政治問題研究会／二五時—二七時 日本共産党々々ブ会館

・一〇月二〇日(水) 一〇月政治問題研究会／二五時—二七時 日本共産党々々ブ会館

●専門委員会等

・七月八日(金) 監事会／二二時—二四時 文化芸術芸術研究会

・七月二二日(水) 監事委員会／二六時—二七時 学生士会館

・七月二五日(金) 報告・討論委員会  
文芸座フタバコアノ運営委員会／九時—一〇分—二六時 文化芸術芸術研究会

・七月二五日(金) 報告・討論委員会／二六時—二七時(10分) 文化芸術芸術研究会

・七月二七日(水) 常務委員会／二七時—二八分—二九分(10分) 学生士会館

・八月二〇日(水) 常務委員会／二六時—二七時(10分) 文化芸術芸術研究会

・八月二二日(金) 常務委員会／二七時(10分)—二八時 文化芸術芸術研究会

・九月六日(火) 常務委員会／二時—二〇分—二五時(10分) 自然社学生青年会事務局

・九月二二日(水) 常務委員会／二六時—二八時 学生士会館

・一〇月二〇日(水) 常務委員会／二五時—二七時 文化芸術芸術研究会

・一〇月二二日(金) 常務委員会／二七時—二八時 学生士会館

・一〇月二四日(日) 常務委員会／二九時—三〇分(10分) 文化芸術芸術研究会

・一〇月二六日(火) 報告・討論委員会／二五時—二七時 文化芸術芸術研究会

・一〇月二六日(水) 新任主任執行幹事報告会／二五時—二七時 学生士会館

・一〇月二七日(木) 報告・討論委員会／二四時—二六時 日本共産党々々ブ会館

・一〇月二八日(金) 常務委員会／二六時—二七時 文化芸術芸術研究会

・一〇月二〇日(水) 監事委員会／二二時—二四分—二四時(10分) 日本共産党々々ブ会館

・一〇月二二日(金) 常務委員会／二四時—二五時 日本共産党々々ブ会館

●その他

・七月二七日(水) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

・九月九日(金) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

・九月二二日(水) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

・九月二二日(水) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

・九月二二日(水) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

・九月二二日(水) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

・九月二二日(水) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

・九月二二日(水) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

・九月二二日(水) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

・九月二二日(水) 一〇月二〇日(水) 東京大学学生自治会連合会(学生自治会)主催の「学生自治会」にて東京大学フタバコアノ二〇二二分館で開催された「学生自治会」報告会に参加した。

### ■報告書について

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

### ■報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

### ■報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先

●報告書の提出先